

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 4月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	排泄における自立支援。歩行が不安定だが自力で排泄を行っている為、時折間に合わず失禁等がある入居者に対し、どのような介助が必要か検討する。	各個人の排泄パターンを把握し、失禁等での不快感を軽減する。	食前や入浴前、行事前等に声かけを行い、各個人の排泄の間隔を把握し、心身の状態等にも気をつけ、状況をみて誘導を行う。	3ヶ月
2	50	グループホーム独自の催事がない為、入居者の思いに答えられていない。	家族や知人等、馴染みの人たちも含めて、催し事を考え、一緒に過ごす時間を楽しいものにする。	入居者や家族、その他の来訪者にどのような催しや活動がしたいか意見を募り、計画を立てていく。	3ヶ月
3	15	職員一人ひとりの知識、技術向上、資格取得の為の勉強会や研修会に参加しにくい状況である。	職員が皆、スキルアップできるよう院内・院外の研修を含め積極的に参加していく。	研修会、勉強会に積極的に参加していき、学んできた事を他のスタッフにも伝達をし、全スタッフの知識・技術の向上を図る。	6ヶ月
4					3ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。